

# 第60期 中間報告書

2014年4月1日～2014年9月30日



**Quality First for Customer !**

 **東海エレクトロニクス株式会社**

<http://www.tokai-ele.co.jp/>

証券コード：8071

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第60期（2014年4月1日～2014年9月30日まで）の中間報告書をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

## 【経営方針】

先端技術電子デバイスとシステムを提供する当社は、国内外の拠点を結ぶネットワークを活かし、最新の技術・価格等の情報収集に努め、自動車、情報通信、FA、環境、医療、エネルギー等の分野のお客様へ、最適調達・最適生産に向けたワンストップ・ソリューション機能を提供しております。

今後も、経営理念及び経営ビジョンに沿い、全社員が社業発展に向けた改善への努力により業績拡大に努めてまいります。

また、管理体制面ではコンプライアンスを徹底し、内部統制機能の強化と経営体質の改善に努めてまいります。



代表取締役社長  
大倉 慎（おおくら しん）

## 【営業の概況】

当社グループは、このたび新たな中期経営計画（Global Action 2016 : GA16）を策定しました。GA16では、「1. Global Partnerとしての体制構築 ～技術商社として、かけがえのないパートナーに～」、「2. 自動車、環境・エネルギーそして医療など社会・生活基盤への一層の注力」をテーマに、更なる成長を目指し世界レベルでのビジネス拡大を図るとともに、技術商社として営業・技術・品質面の体制強化に取り組んでまいります。

当社グループの業績における自動車分野ビジネスについては、国内において消費税増税の影響による一時的な落ち込みがあったことにより前年同四半期を下回る結果となりましたが、海外においては北米市場での景気回復を背景に自動車生産は好調に推移しており前年同四半期を上回る結果となっております。情報通信分野ビジネスについては、中華圏においてモバイル機器等のお客様の中国生産の縮小に伴う受注減少などにより厳しい環境が続いておりますが、東南アジア圏においてはOA機器等の生産増加に伴い受注が堅調に推移しました。また、FA・工作機械分野ビジネスについては、中国市場での回復に加え、国内設備投資も回復しつつあり堅調に推移しました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は199億8千3百万円（前年同四半期比4.4%増）となり、利益面では営業利益4億4千9百万円（前年同四半期比4.7%増）、経常利益4億7千3百万円（前年同四半期比5.8%増）、四半期純利益2億5千1百万円（前年同四半期比11.9%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 【経営理念】

地球環境を守り、人に愛され、信頼される良い企業であり続ける。

## 【経営ビジョン】

基本徹底 Enforce Fundamentals  
Quality First for Customer !

## 【企業目的】

ソリューションベンダーとしてデバイスとシステムを提供し、  
環境、移動、コミュニケーションを快適にします。

## 中期経営計画「Global Action 2016:GA16」

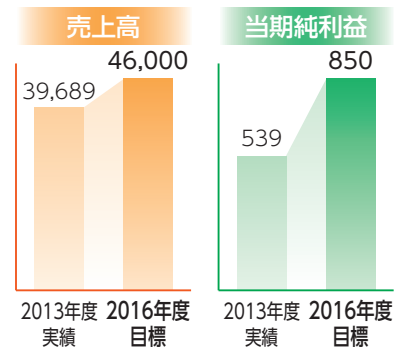


(注) 中期経営計画書はホームページで開示しております。無断での転載・転用を禁止するという趣旨で「Confidential」と表示しております。

当社グループは、前中期経営計画「Business Revolution 2013:BR13」での方針を受け継ぎ、このたび2014年度～2016年度の3年間を対象とした中期経営計画「Global Action 2016:GA16」をスタートいたしました。「技術商社として、かけがえのないパートナーになろう！」の合言葉を全社一丸の目標として、100年企業を目指してまいります。

### 経営数値目標

(連結、単位：百万円)



## GA16の骨子

## Key for Success

1. Global Partnerとしての体制構築  
～技術商社として、  
かけがえのないパートナーに～

①海外拠点体制の  
強化(営業、調達、  
品質、技術)

②グローバル人材  
育成

③技術サポート、  
システム提案の  
強化

④働きやすい環境  
整備と財務体質  
の一層の向上

2. 自動車、環境・エネルギー  
そして医療など  
社会・生活基盤への一層の注力

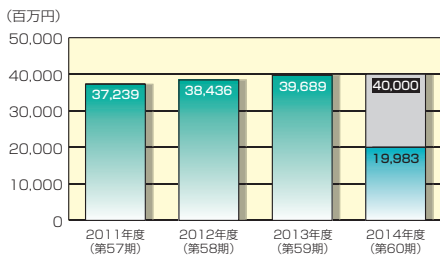
①自動車関連への一層の  
営業・技術サポート体  
制拡充

②主力メーカ様とのタイ  
アップ強化と一層の横  
連携、提案強化

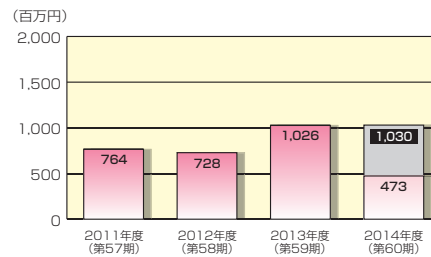
③医療及び環境・エネル  
ギー関連プロジェクト  
立ち上げ

グラフで見る業績の推移(■内の数字は、2014年度通期の予想数値であり、2014年度第2四半期及び過年度の数字は実績であります。)

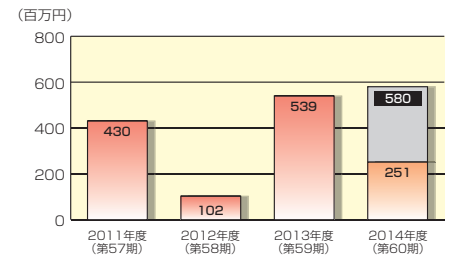
### ●売上高



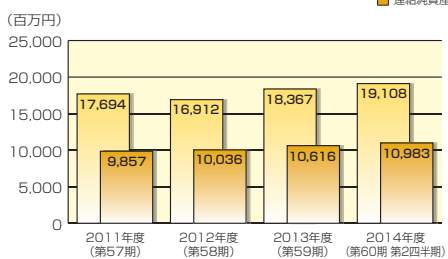
### ●経常利益



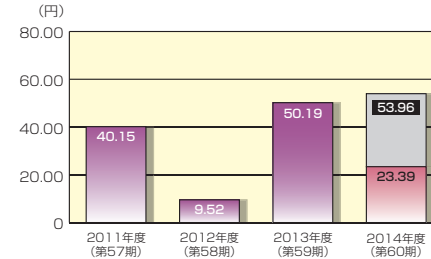
### ●四半期(当期)純利益



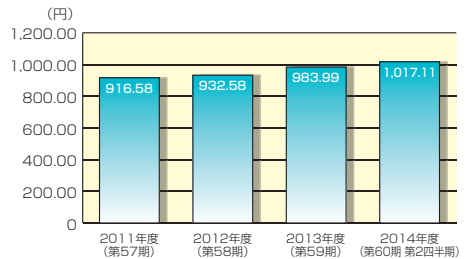
### ●総資産・純資産



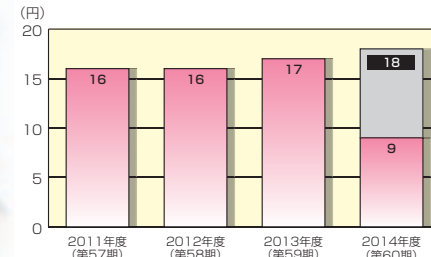
### ●1株当たり四半期(当期)純利益



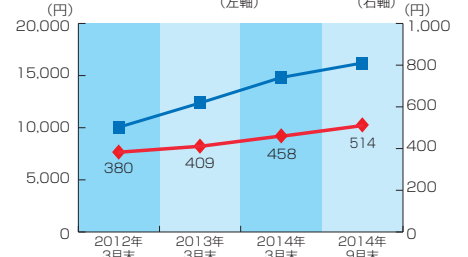
### ●1株当たり純資産



### ●配当金の推移



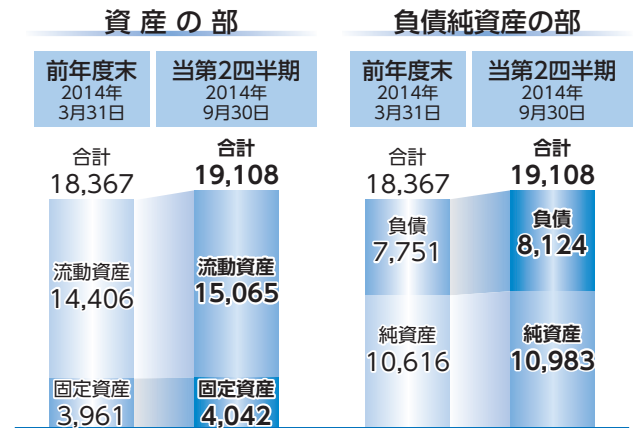
### ●株 価



四半期連結財務諸表

(単位：百万円)

四半期連結貸借対照表 (2014年9月30日現在)			
資産の部		負債の部	
流動資産	15,065	流動負債	7,680
現金及び預金	1,855	支払手形及び買掛金	6,984
受取手形及び売掛金	9,774	未払法人税等	188
電子記録債権	612	賞与引当金	184
たな卸資産	2,545	役員賞与引当金	53
その他	277	その他	269
固定資産	4,042	固定負債	444
有形固定資産	2,889	退職給付に係る負債	331
土地	1,929	その他	113
その他	960	負債合計	8,124
無形固定資産	120	純資産の部	
ソフトウェア	120	株主資本	11,331
投資その他の資産	1,032	資本金	3,075
投資有価証券	720	資本剰余金	2,511
その他	312	利益剰余金	6,158
資産合計	19,108	自己株式	△414
		その他の包括利益累計額	△397
		その他有価証券評価差額金	280
		土地再評価差額金	△663
		為替換算調整勘定	△14
		新株予約権	50
		純資産合計	10,983
		負債純資産合計	19,108



●資産

前年度末に比べ7億4千万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が2億4百万円、売上債権が1億7千5百万円、たな卸資産が2億8千5百万円増加したことなどによるものです。

●負債

前年度末に比べ3億7千3百万円増加となりました。これは未払法人税等が1億7千4百万円など減少しましたが、仕入債務が5億4千8百万円増加したことなどによるものです。

●純資産

前年度末に比べ3億6千7百万円の増加となりました。これは主に四半期純利益2億5千1百万円の計上に加え、為替換算調整勘定が1億2千1百万円増加したことなどによるものです。

(単位：百万円)

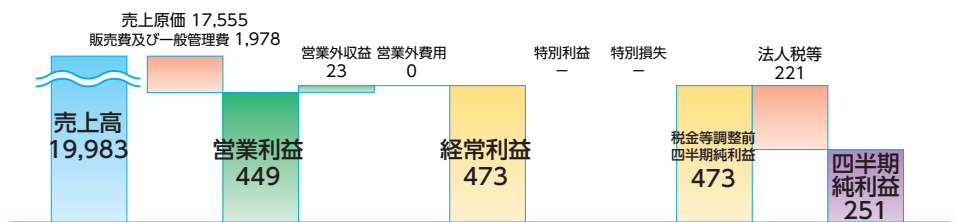
四半期連結損益計算書 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)	
売上高	19,983
売上原価	17,555
売上総利益	2,428
販売費及び一般管理費	1,978
営業利益	449
営業外収益	23
営業外費用	0
経常利益	473
特別利益	-
特別損失	-
税金等調整前四半期純利益	473
法人税等合計	221
少数株主損益調整前四半期純利益	251
四半期純利益	251

前第2四半期連結累計期間  
(2013年4月1日～2013年9月30日)



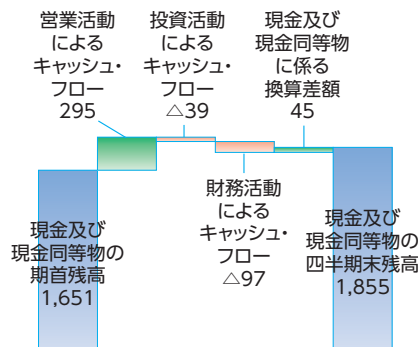
当第2四半期連結累計期間の前年同四半期比は、売上高は4.4%増、営業利益は4.7%増、経常利益は5.8%増、四半期純利益は11.9%増となりました。

当第2四半期連結累計期間(2014年4月1日～2014年9月30日)



(単位：百万円)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	295
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,855



●営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益4億7千3百万円の計上などがあり、取得した資金は2億9千5百万円(前年同四半期は3億8千8百万円の取得)となりました。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産6百万円、無形固定資産2千6百万円などの取得により、3千9百万円の支出(前年同四半期は2千4百万円の収入)となりました。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額などにより、9千7百万円の支出(前年同四半期は8千5百万円の支出)となりました。



## セグメント別売上高(2014年9月30日現在)

### ○デバイス・ソリューション関東・甲信越カンパニー

医療分野においては情報デバイス商品の販売減少などにより低調に推移しましたが、自動車分野においては電気自動車（EV）用の電子部品の受注が堅調に推移したことに加え、情報通信分野においてもお客様の新興国向け製品の生産増加に伴う販売が増加したことなどにより、売上高は23億7百万円となり前年同四半期に比べ2.9%の増加となりました。

### ○デバイス・ソリューション中部・関西第1カンパニー

消費税増税の反動により自動車分野や住宅設備関連において一部影響があったものの、FA・工作機械分野においては中国市場の回復に伴い設備投資需要が緩やかに回復しつつあることに加え、医療分野においても新機種の採用により販売が増加した結果、売上高は60億1千2百万円となり前年同四半期に比べ6.4%の増加となりました。

### ○デバイス・ソリューション中部・関西第2カンパニー

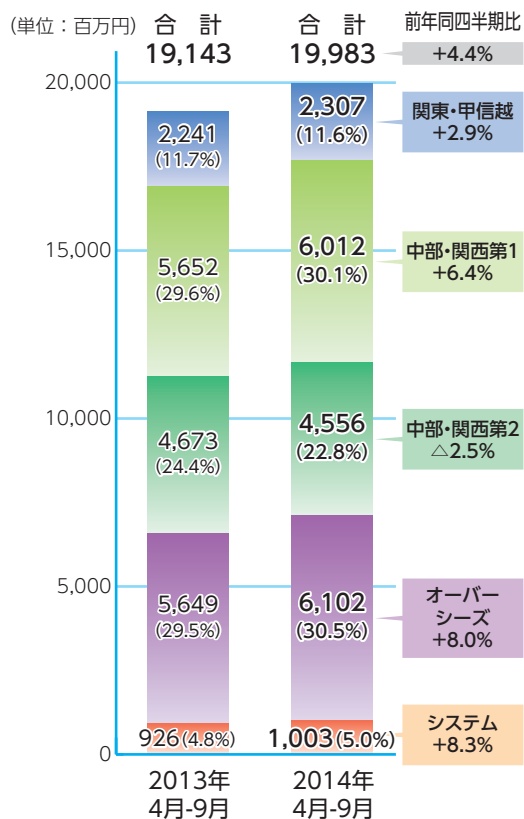
自動車分野において、自動車生産台数が第2四半期連結会計期間は改善基調にあるものの、消費税増税の反動により第1四半期連結会計期間においては一時的に落ち込んだことから、売上高は45億5千6百万円となり前年同四半期に比べ2.5%の減少となりました。

### ○オーバーシーズ・ソリューションカンパニー

情報通信分野においては、中華圏でのモバイル機器等の関連部品販売が低調であったものの、OA機器等は中華圏から東南アジア圏へ生産移管が進んでいることから、東南アジア地区での業績は堅調に推移しました。また、自動車分野においても、北米における自動車生産の増加に伴う受注が堅調に推移したことに加え、為替相場が前年同四半期と比べ大幅に円安となったことも寄与した結果、売上高は61億2百万円となり前年同四半期に比べ8.0%の増加となりました。

### ○システム・ソリューションカンパニー

消費税増税の反動の影響により生活環境機器の受注が落ち込みましたが、医療施設の増改築及び太陽光発電施設の設備投資などが好調であったことに加え、FA・工作機械分野において中国向け設備投資が堅調に推移したことから、売上高は10億3百万円となり前年同四半期に比べ8.3%の増加となりました。

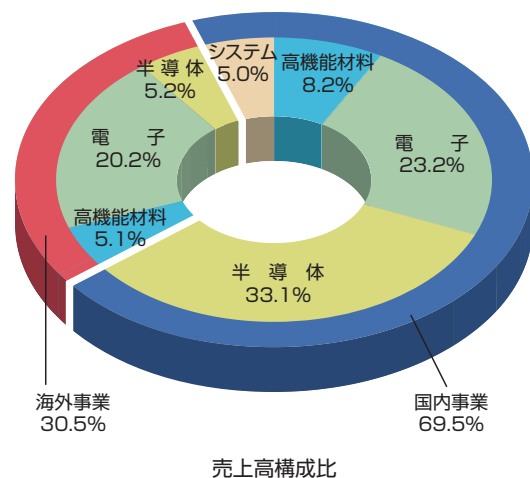


(注) 1. グラフ中の（ ）内は、売上高合計に対する構成比です。  
2. セグメント間の取引については、相殺消去しております。  
3. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## 主要な事業内容(2014年9月30日現在)

当社グループはエレクトロニクス商品の販売及び加工を主な事業としており、事業内容別の主要な取扱商品は次のとおりであります。

事業名	主要取扱商品名
M (高機能材料) デバイス事業	銅合金、インサート成形品、非鉄金属、アルミダイキャスト、ゴム及び樹脂成形品、シリコーン樹脂、フッ素樹脂、ガラス繊維、住宅用断熱材、マグネット、強化ガラス、プリント基板材料、エンブラ、接着剤、放熱材、各種粘着テープ、その他
E (電子) デバイス事業	各種モータ、センサ、エンコーダ、コネクタ、スイッチ、スピーカ、ハーネス、FFC、FPC、基板、基板アセンブリ、各種ユニット組立、LCD、タッチパネル、UPS、その他
S (半導体) デバイス事業	マイコン、システムLSI、カスタムIC、各種IC、ディスクリット、パワーデバイス、センサ、半導体モジュール、基板アセンブリ、その他
システム・ソリューション事業	基板アセンブリ、ハーネス、グローバルコンポーネント、省力・自動制御機器、空調自動制御装置・システム設計・施工・保守、各種検査装置、マイコンソフトウェア設計開発、その他



## 会社役員に関する事項(2014年11月10日現在)

地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役 会長	大 倉 偉 作	
代表取締役 社長	大 倉 慎	
専務取締役	霜 越 憲 一	国内営業本部長 兼 マーケティング本部長 (品質・環境担当)
専務取締役	笹 川 剛	海外営業本部長
常務取締役	笹 井 賢 次	海外営業本部 オーバーシーズ・ソリューションカンパニー長 兼 アメリカ グループ グループリーダー 兼 東南アジアグループ グループリーダー
取 締 役	森 田 誠	管理本部長 兼 人事部 部長 (情報・IR・CSR・危機管理担当)
取 締 役	小和瀬 靖 明	技術本部長 兼 半導体品質管理技術部 部長 (技術担当)
取 締 役	牧 島 賢 治	国内営業本部 デバイス・ソリューション 中部・関西第1カンパニー長 兼 名古屋支店長
取 締 役	井 田 光 治	国内営業本部 デバイス・ソリューション 関東・甲信越カンパニー長 (品質副担当)
取 締 役	鈴 木 章 浩	国内営業本部 デバイス・ソリューション 中部・関西第2カンパニー長 兼 マーケティング本部 副本部長
取 締 役	西 出 英 司	管理本部 経理部 部長 兼 管理部 部長 (品質副担当)
取 締 役 (社外取締役)	天 野 利 紀	
常勤監査役	梶 田 洋 志	
監 査 役	日下部 康 生	
監 査 役	高 橋 清 八	
監 査 役	松 永 忠 良	

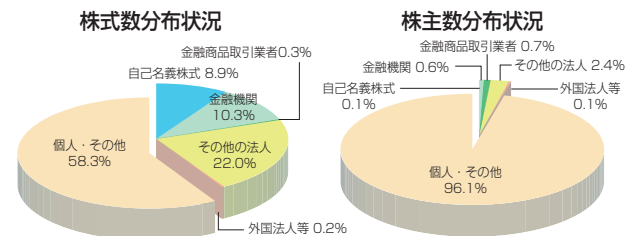
地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
執行役員	本 郷 豊 彦	技術本部 副本部長
執行役員	水 谷 法 彦	国内営業本部 デバイス・ソリューション 中部・関西第1カンパニー 安城支店長 兼 Eデバイス部 部長
執行役員	谷 一 夫	国内営業本部 デバイス・ソリューション/関東・甲信越カンパニー 副カンパニー長 兼 東京支店長 兼 Sデバイス部 部長
執行役員	三 宅 雅 之	海外営業本部 オーバーシーズ・ソリューションカンパニー 中華圏(華東・華北) グループ グループリーダー 兼 東精国際貿易(上海)有限公司 代表取締役社長

## 会社の株式に関する事項(2014年9月30日現在)

- (1) 発行可能株式総数 31,214,000株  
 (2) 発行済株式の総数 10,749,625株  
 (自己株式1,051,691株を除く。)  
 (3) 株主数 1,404名  
 (4) 大株主

大 株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
○ K U R A 株 式 会 社	1,477,000株	13.74%
江 □ 健 三	1,010,504	9.40
牧 □ 三 枝	840,456	7.82
江 □ 由 江	725,639	6.75
江 □ 志 津	431,621	4.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	377,950	3.52
株式会社メルコホールディングス	308,150	2.87
東海エレクトロニクス従業員持株会	239,691	2.23
株式会社三井住友銀行	200,000	1.86
住友生命保険相互会社	191,000	1.78

(注) 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。



## トピックス



### 「名証IRエキスポ2014」に出展

7月25日、26日に吹上ホール(名古屋市千種区)で行われました、名古屋証券取引所主催の「名証IRエキスポ」に、今年も出展いたしました。当社ブースではご来場いただいた株主様、投資家様に対し、当社の取り組みについてご説明させていただきました。今年は、昨年よりも多くの皆様に当社ブースにお立ち寄りいただきました。

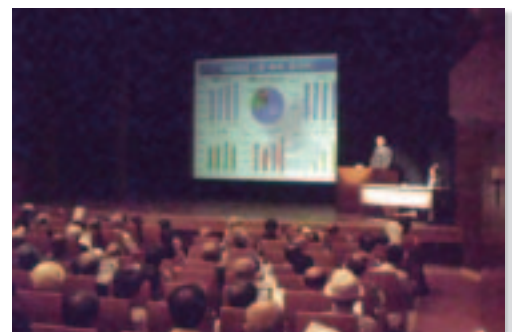
当社にとりまして、株主様、投資家様と直接お話しさせていただき、お声を伺いする貴重な機会となっております。お立ち寄りいただきました皆様、誠にありがとうございました。

### 名証個人投資家向け「株式投資サマーセミナー2014」に参加

9月10日に中電ホール(名古屋市東区)で行われました、名古屋証券取引所主催の「株式投資サマーセミナー」に、今年も参加いたしました。

当日は株主・投資家の皆様に、社長が当社の事業内容・財務情報についてご説明したほか、中国の関連会社である東精国際貿易(上海)有限公司より来日した現地のマーケティング部のスタッフが、新規顧客開拓の事例について、日本語でプレゼンテーションをいたしました。

今年もお集まりいただいた皆様に、当社のグローバルな事業展開を実感していただけたものと思います。お集まりいただきました皆様、誠にありがとうございました。



## 2015年(予定)

### 「第7回 国際カーエレクトロニクス技術展」に出展します

開催日: 2015年1月14日(水)~16日(金)

場 所: 東京ビッグサイト

自動車のエレクトロニクス化に関する国内最大の展示会です。  
 お客様とのコミュニケーションをはかる貴重な機会となっております。

## グローバルネットワーク (国内9拠点×海外13拠点)

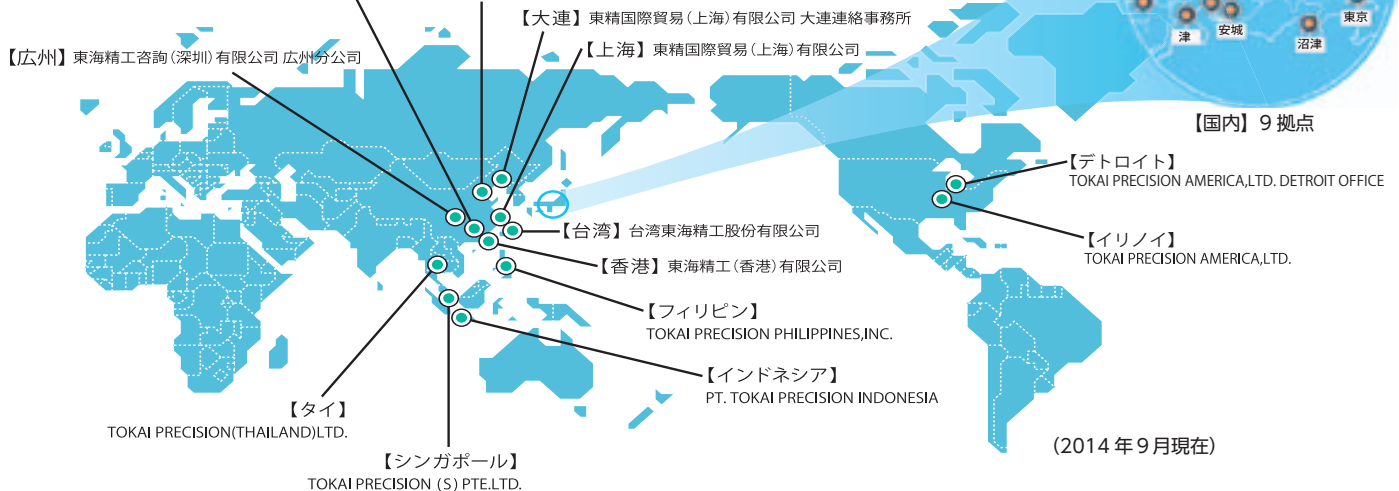
### ●当社の国内拠点

本社・名古屋支店 東京支店 大阪支店 安城支店 小牧支店 津支店 松本支店 沼津支店 熊谷支店

### ●連結対象子会社

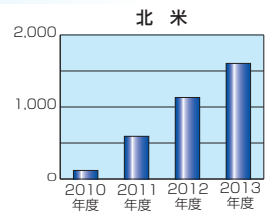
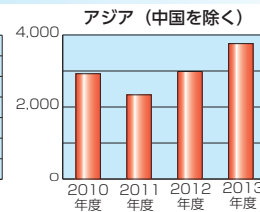
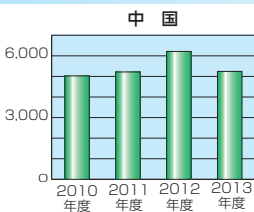
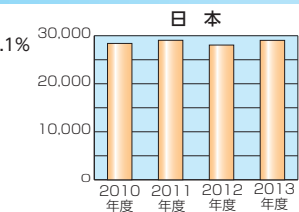
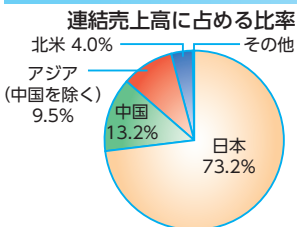
国内 東海オートマチックス株式会社 東海テクノセンター株式会社 東海ファシリティーズ株式会社

海外 【深圳】東海精工諮詢(深圳)有限公司 【天津】東精国際貿易(上海)有限公司 天津連絡事務所



## 地域別の売上高 (2013年度実績)

(単位:百万円)



(注) 売上高は、顧客の所在する国・地域をもとに分類しています。

## 東海エレクトロニクスが注力するフィールド

デバイスの提案からシステムの構築まで、お客様の立場に立ってワンストップでソリューションを提供します。

### 医療

#### 医療現場のデジタル化・ネットワーク化をサポート

高齢化が進む中、医療現場の快適化は不可欠な要素。東海エレクトロニクスでは、ナースコールシステムをはじめとした通信技術の導入など、ネットワークシステム構築や検査システム用モニタの提案などで医療現場を支援しています。



### 環境・エネルギー

#### 快適な生活に省エネ技術を

例えば、省エネでお湯を沸かすエコキュート。エネルギーを生み出す新しい技術にも、東海エレクトロニクスの提供するデバイスが活かされ、みなさまの暮らしを快適にするお手伝いをしています。



### FA・工作機械

#### ものづくりを支える品質・技術を提供

工場のラインなどで活躍するロボットや工作機械。ものづくり大国・ニッポンを支える現場にも、東海エレクトロニクスのノウハウや技術が幅広く活かされています。



### 自動車

#### ドライブをより快適に楽しむために

自動車は東海エレクトロニクスが最も得意とする分野のひとつ。エンジンやサスペンションの制御など様々な用途に先進のデバイスを提供し、自動車の安全性と快適性の向上に貢献しています。



### 情報通信

#### 身近なネットワークをもっと快適に

いまや生活に欠かせないコミュニケーションツールとなった、パソコンやケータイも東海エレクトロニクスのビジネス領域。コネクタなどの電子部品から基板アセンブリなどシステム全般までを提供し、快適なコミュニケーションをお届けしています。





## 会社概要 (2014年9月30日現在)

社 名 東海エレクトロニクス株式会社  
TOKAI ELECTRONICS CO., LTD.  
創 立 1945年10月 1 日  
設 立 1955年 5 月24日  
本社所在地 名古屋市中区栄三丁目34番14号  
資 本 金 3,075,396,000円  
従 業 員 数 328名 (連結)

## 株主優待のご案内

2014年6月の定時株主総会終了後に、次の通り株主優待をお届けいたしました。



### ○対象株主様

2014年3月31日現在で東海エレクトロニクス株式会社の株主名簿に記載してある1単元(1,000株)以上ご所有の株主様。

### ○優待内容

JCB-Quoカード1,000円券  
1単元以上～5単元未満 1枚(1,000円分)  
5単元以上～10単元未満 3枚(3,000円分)  
10単元以上 5枚(5,000円分)

なお次回以降の株主優待については未定です。

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	名古屋証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.tokai-ele.co.jp/">http://www.tokai-ele.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内



当社ホームページでは、当社の企業情報を随時開示しております。会社情報、IR情報、商品情報など様々な最新情報を掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

東海エレクトロニクス

検索

<http://www.tokai-ele.co.jp/>

## 株式に関するお手続きについて

### ■特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*)	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 【手続き書類のご請求方法】 ●音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479(通話料無料) ●インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufj.jp/daikou/">http://www.tr.mufj.jp/daikou/</a>

(\*) 特別口座に記録された株式を所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

### ■証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。